

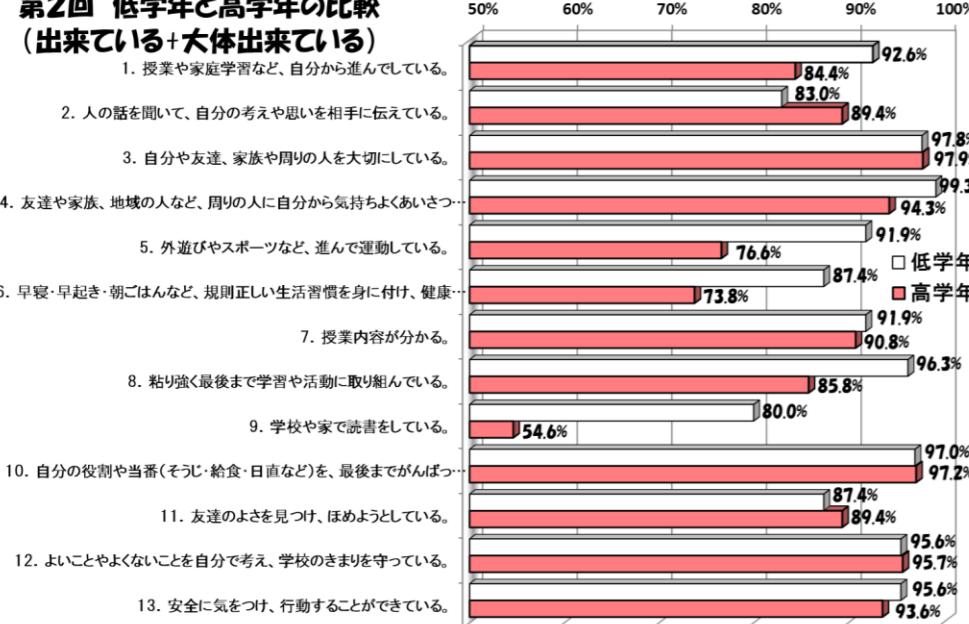


令和5年3月 京都市立陵ヶ岡小学校 校長 園部 久美

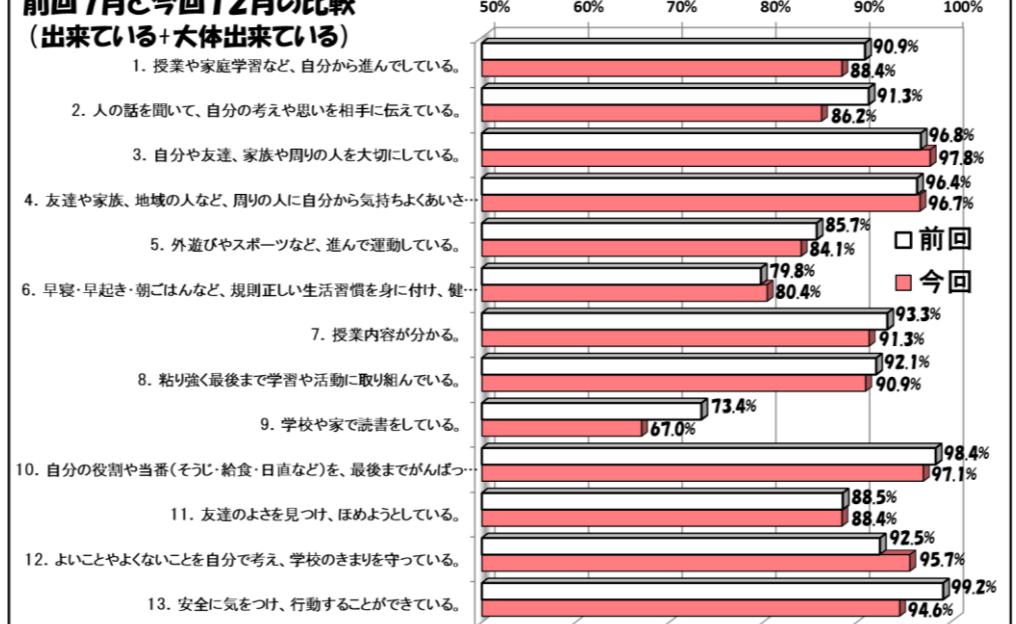
学校教育目標

自ら探究し、つながり合い、未来を拓く陵ヶ岡の子
～育てたい資質・能力「3Motto(スリーもっと)」を育む陵ヶ岡教育の創造

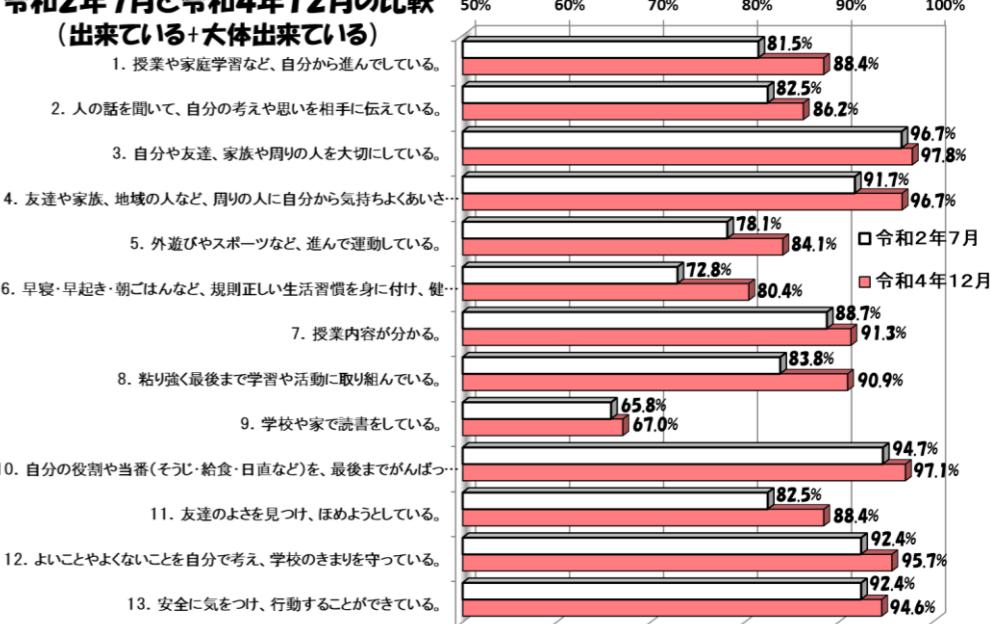
第2回 低学年と高学年の比較 (出来ている+大体出来ている)



前回7月と今回12月の比較 (出来ている+大体出来ている)



令和2年7月と令和4年12月の比較 (出来ている+大体出来ている)



☆児童のアンケート結果より

7月(前回)のアンケート結果で「出来ている」「大体出来ている」の割合が9割を超えていた9項目の12月(今回)の結果は下記の通りで、

- 「1.進んで授業や学習に取り組む」88.4% (前回比-2.5)
- 「2.話を聞き、考え方や思いを伝える」86.2% (前回比-5.1)
- 「3.自分や友達、家族や周りの人を大切にする」97.8% (前回比+1.0)
- 「4.挨拶、謝罪、感謝」96.7% (前回比+0.3)
- 「7.授業内容がよく分かる」91.3% (前回比-2.0)
- 「8.粘り強く最後まで取り組む」90.9% (前回比-1.2)
- 「10.役割や当番を最後までがんばる」97.1% (前回比-1.3)
- 「12.善悪の判断、きまりを守る」95.7% (前回比+3.2)
- 「13.安全に気をつけて行動する」94.6% (前回比-4.6)

多少の増減はありますが7項目は依然と9割を超えていました。

また、課題となっている読書については、

「9.学校や家の読書」67.0% (前回比-6.4)

と、落ち込みが見られます。この項目の経過を見てみると、

R2年度① R2年度② R3年度① R3年度② R4年度① R4年度②

65.8% ⇒ 67.9% ⇒ 70.8% ⇒ 71.1% ⇒ 73.4% ⇒ 67.0%

と増減はあるものの全体的には2年前とあまり変化のないのが現状です。課題となっている「9.学校や家の読書」67.0% (前回比-6.4) を低・高学

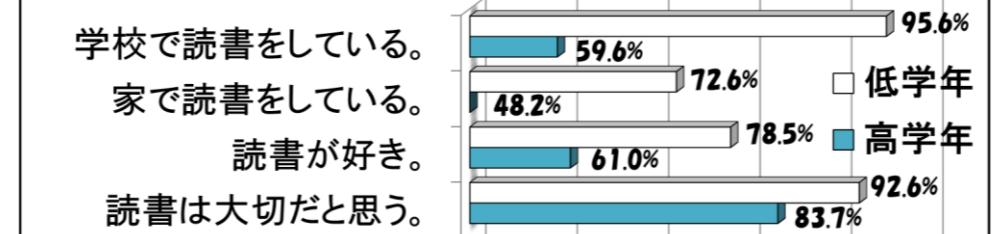
第2回学校評価アンケートの集計結果について

寒さの中にも春の訪れを感じる季節となりました。平素は本校教育活動の推進にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

12月に実施した第2回学校評価アンケートの結果をご報告いたします。前回同様に、3校(花山中・鏡山小・陵ヶ岡小)で統一した項目(1~6)と、本校の学校教育目標に照らして学習面や生活面を振り返る項目の結果で様子をみていきます。「3月臨時号」では、主に現況や第1回(7月)の結果との比較、今後の方向性等についてお伝えしたいと考えております。また、保護者アンケートの記述欄で「2学期までを振り返り、子どもたちのことや気になることやお気づきのこと」という視点でお尋ねしたところ、貴重なご意見を多数いただきました。お忙しい中、学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。

年別に比較すると、低学年は 80.0% (前回比-5.4)、高学年は 54.6% (前回比-6.1) となっています。どちらも前回より下がっていますが、高学年は低学年より 25.4% (前回比-0.7%) 低い状態です。

読書についてのアンケート結果



今回、読書についてさらに4項目を尋ねてみると、家より学校で読書している児童が多いです。家で読書している児童は学校でも読書をしていると仮定すると、読書習慣が身についている割合は低学年で約7割、高学年で約5割と考えられます。ただ、学年が上がるに伴い数値が低くなる傾向にあります。また、読書が好きでなくとも読書は大切と思っている児童は多く、今後も読書に慣れ親しむ(読書が好きな子を育む)取組や働きかけを継続していく必要があります。

☆2年前との比較

例年、学校評価アンケートを年度ごとに2回実施していますが、令和2年度から令和4年度までの3年間の経過の中で、数値が高まった項目が多くありました。以前、課題のあった学習や生活に関する項目に焦点をあててみ

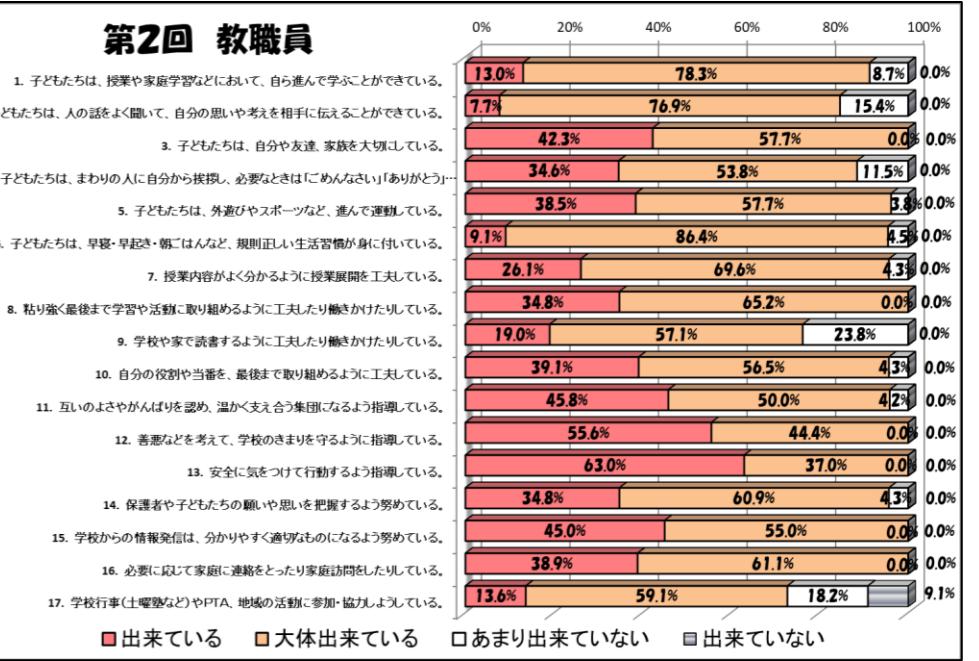
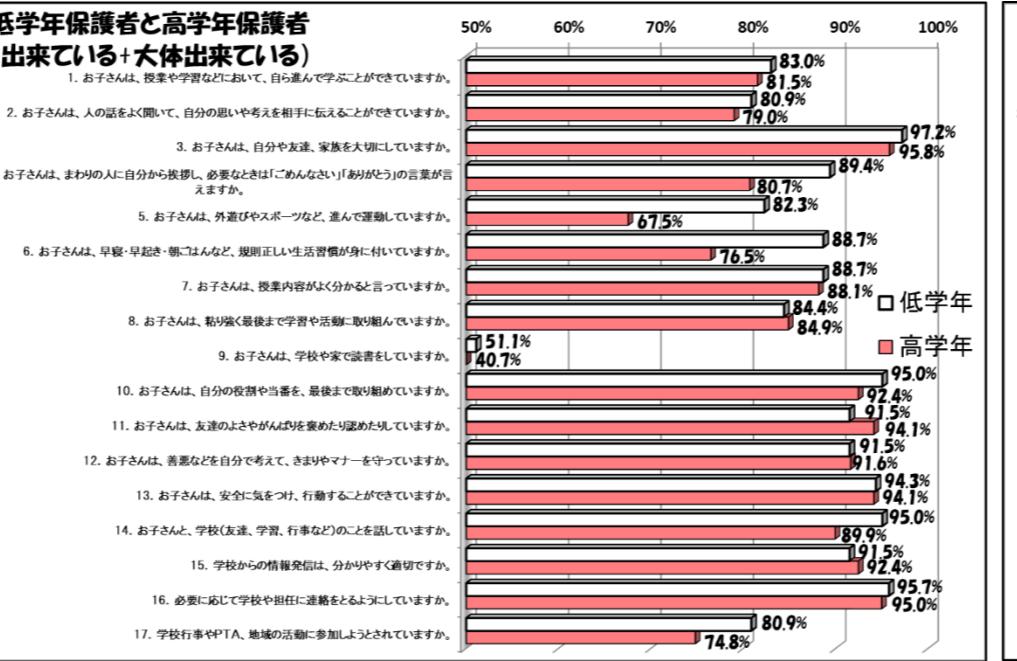
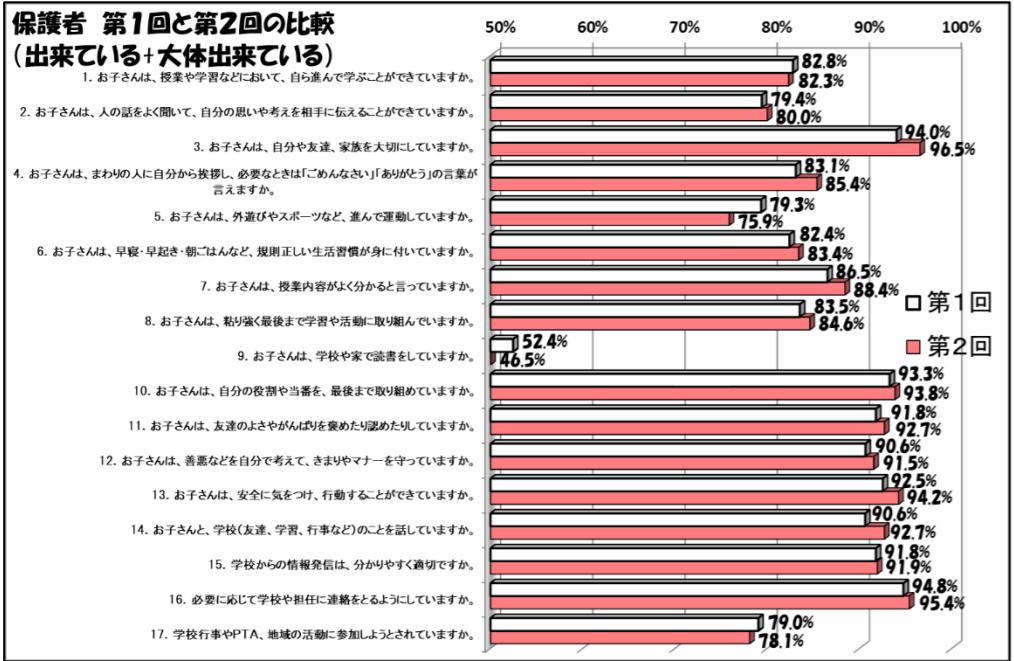
ると下記のようになりました。

R2①7月 R4②12月

「1.進んで授業や学習に取り組む」	81.5%	→	88.4%
「2.話を聞き、考え方や思いを伝える」	82.4%	→	86.2%
「7.授業内容がよく分かる」	88.7%	→	91.3%
「8.粘り強く最後まで取り組む」	82.8%	→	90.9%
「5.進んで運動する」	78.1%	→	84.1%
「6.規則正しい生活習慣」	72.8%	→	80.4%

今年度12月の結果は7月より若干数値が下がっていますが、ここ3年間の変化の特徴として「学習に関する項目の高まり」「落ち着いて学ぶ環境の形成」「意欲的に取り組める児童の増加」が見られるようになってきました。また、学級・学年集団が落ち着いてきたことで言語活動が充実し、話を聞いて自分の考え方や思いを伝える場面も増えてきています。普段の様子においてもGIGA端末を活用した交流が日常的なことになってきており、高学年だけでなく低学年において発達段階や技能等に応じた活用が見られます。

先日、1年生が「生活科」で来年度入学予定の保育園や幼稚園の子たちに、小学校生活の様子を伝える学習をしました。各グループでタブレットや学習用具等を使って小学校生活のよさが伝わるように創意工夫して丁寧に伝え、やり取りする姿が見られました。そのようなコミュニケーション能力の育成をめざし、各学年に応じた取組を進めたいと考えています。



☆保護者アンケート結果より

アンケート内容が児童と保護者で共通している上段13項目で、前回(7月)、「出来ている」「大体出来ている」が9割程度であった5項目は、

- ・「3.自分や友達、家族や周りの人を大切にする」(96.5%、前回比+2.5)
- ・「10.役割を最後まで取り組む」(93.8%、前回比+0.5)
- ・「11.友達のよさを見つけほめる」(92.7%、前回比+0.9)
- ・「12.善悪の判断、きまりを守る」(91.5%、前回比+0.9)
- ・「13.安全に気をつけて行動する」(94.2%、前回比+1.7)

となっています。これらの項目については2年前から9割程度と高く、普段からお家で大切にされ、働きかけておられることが子どもたちの様子に反映されていると考えられます。また、保護者の方々にお尋ねしている下段4項目(14~17)については、3項目が9割を超えていました。

- ・「14.お子さんと学校のことを話している」(92.7%、前回比+2.1)
- ・「15.学校からの適切な情報発信」(91.8%、前回比+0.1)
- ・「16.学校・担任との連携」(95.4%、前回比+0.6)

家庭でお子さんと学校のことを話されている家庭が多く、また必要に応じて学校と連携を密にしていただいていることはとても有難いです。今後も学校と家庭、地域が連携し、子どもたちの健やかな成長を見守り、支えていくよう、引き続きご協力お願いいたします。

「9.学校や家の読書」は、課題としてあげられる項目です。日々の読書の機会をしっかり確保し、長期的な視点で「読書のよさを感じる子」「読書が好きと思える子」を育むことは大切だと思います。お家や学校での働きかけや取組を継続して進めていければと思っています。

先日、京都薬科大学での「ランニングデイ」では、保護者の方々に参観していただく機会をやっと設けることができました。状況に応じたコロナ対応は実施しておりますが、各学校行事の折に多数の保護者の方々にお越しいただけたこと嬉しく感じています。

来年度においても「他学年や全校で実施する学校行事」「保護者や地域の方々と共に活動する取組」等を、皆様のご協力のもと、徐々に実施していきたいと考えています。

☆今後の方向性と取組

○学習面においては、全体的に落ち着いた学習環境の中で学び、意見交流する姿が見られます。今後も以下のことを大切にしながら「授業づくり」「学級・学年づくり」を進めていきたいと考えています。

- ・「粘り強く最後まで取り組むこと」「人やものとのかかわり合うこと」「意見交流し、協働すること」をベースにした授業づくり
- ・GIGA端末の「ミライシード」等も活用した基礎基本の定着、自主的に落ち着いて学習に取り組む姿勢や習慣の形成
- ・事実や叙述に基づく話し合い、話題や文脈に沿った話し合いの推進
- ・必要な情報や要素を整理して考えたり、どのように答えを導き出したのか説明したりする力を伸ばしていく学習の推進
- ・協働学習と言語活動の充実による「合意形成能力」と「人間関係形成能力」の育成
- ・言語活動の充実を図る学習環境、安心して自己表出ができる学習集団づくり
- ・相手意識をもって他者に伝える機会を多く設定し、「自分の思いや考えを相手に伝える力」「筋道を立てて説明し、文章にする力」「相手の意図や感情を理解し、臨機応変に対応する力」等、やり取りするコミュニケーション能力(対話力)の育成

○以前から課題となっている読書については、本が身近なものになるよう学校や家庭において継続した働きかけをしていく必要があります。教科学習で図書室の本を活用する機会はありますが、少しでもじっくり興味のある本に向かう15分程度の「朝の読書タイム」を着実に進めていくとともに、図書室で本を借りる機会を多く設ける等の日常の取組を大切にしていきたいと考えています。また、学校司書や図書館教育に携わる保護者の方々・外部団体等とも連携し、本への興味・関心を広げていけるよう取組や環境整備を進めたいと思います。ご家庭におかれましても、読書習慣形成に向けた働きかけをよろしくお願いします。

○「規則正しい生活習慣の形成」は、学校生活の基盤であり、継続した働きかけが大切です。今後も「早寝・早起き・朝ごはん」を大切にしながら8時~8時20分に登校できるようご協力お願いいたします。

☆保護者アンケート記述欄より

夏休み明け以降、校外活動を予定通り実施することができています。また、スポーツディイを数年ぶりに全校で行うことができ、徐々に従来の学校生活に戻りつつあります。保護者の皆様から多数のご意見をいただきましたが、以前に比べてお子様に関するご意見も多くなっています。紙面の都合上、いくつかの項目ごとに抜粋・集約して紹介します。

学校での様子

- ・授業も分かりやすく、楽しい日々を送ることができます。
- ・学校に行くのが楽しく、元気に過ごせている。
- ・放課後にグラウンドで遊べるようになり、友達と一緒に元気に楽しく遊んでいる。
- ・やる気をもって取り組んでいる姿が見られる。

学習

- ・参観では、自らお手伝いをしたり、積極的に授業に参加したりする姿が見られた。今後も良いところを伸ばし、のびのびとした教育をお願いしたい。
- ・学習面で少し不安なところがある。
- ・学年が上がって勉強が難しくなり、大変そうにしている。分からない所や苦手な所がそのままにならないか心配。
- ・就寝時間が遅くなり、朝は眠そうにしている。集中して授業等に取り組めているか気になる。

友達関係

- ・友達が増え、いろんな人の良い面に目を向けて仲良くしているようで嬉しい。
- ・遊んでいるときや夢中になっているときに互いに口調がきつくなってしまうようで、きつく言われて落ち込んでいることがある。
- ・友達とのトラブルも少しあったが、楽しく学校生活を送っていると思う。

行事

- ・ミュージックディ(学習発表会)やコミュニティディ(休日参観)があり、学校での子どもの頑張る姿を見る機会が増えて嬉しい。
- ・今年度は行事も実施でき、本当によかったです。参観に向けて頑張ってる子どもの姿も見られる。
- ・特技発表等の活動が、自信や生き生きとした気持ちに繋がっている。
- ・おやじの会の「大文字ハイキング」は、学年の枠を越えて多くの方々と話す機会になり、親子共々楽しく過ごせた。

お家の様子

- ・自分のやろうとしていることをしっかりと伝えることができるようになり、自分なりのルールや計画をもてるようになってきた。
- ・学校でのことや学んだことを話してくれる。友達のすごいところや頑張りも伝えてくれる。
- ・高学年になって学校でのことを話さなくなってきたため、子どもへの対応を手探りで模索している。長い目で見守りたいと思う。
- ・家ではあまり話さないが、友達と楽しく過ごせているようで嬉しい。
- ・反抗期に入ったのか気になる。(口の利き方等)
- ・片付けや時間管理などあまり出来ていないと感じる。
- ・オンラインゲームのやりすぎが気になる。
- ・漫画とYouTubeの時間が長いのが気になる。
- ・スマホを持つ子が増え、通話等のアプリの利用に誘われることが増えた。

その他

- ・集団登校に対し、嫌そうにしているため、もう少ししっかりルール化して頂きたい。